

施行者：河内長野市 高向・上原土地区画整理組合
 施行面積：21.50ha
 施行期間：令和5～9年
 総事業費：約4,490百万円
 減歩率：44.99% (公共11.35%)
 計画人口：—

都市計画決定：令和4年12月22日
 事業計画認可：令和5年1月4日
 仮換地指定：—
 換地処分：—
 組合解散認可：—

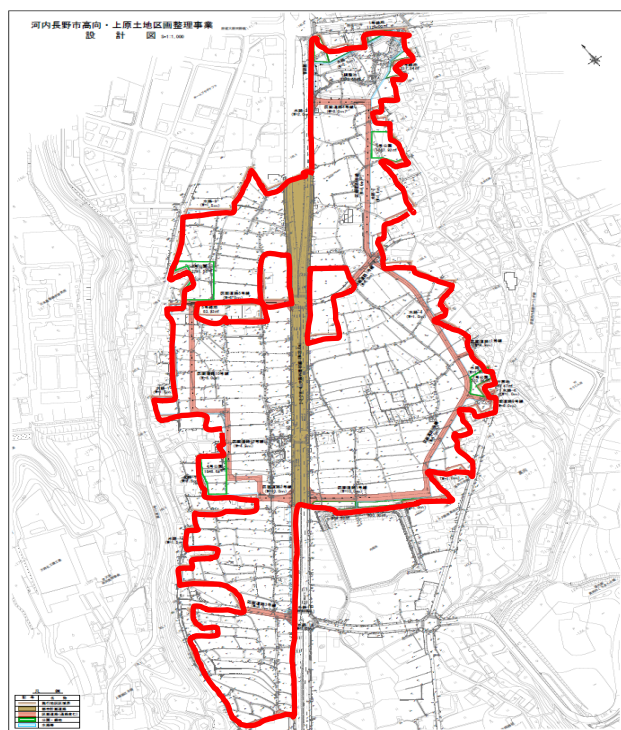
本地区は、河内長野市の主要駅の一つである南海高野線河内長野駅から南西約2.5kmの縁辺部に位置し、市内中心部を南北に縦断している国道170号と、和歌山県へのアクセス道路である国道371号との交差点である「上原町」交差点から、南西に国道170号約1kmの区間を含めた沿道で、面積約21.5haの地区である。

本地区は市街化調整区域かつ農業振興地域に指定されており、概ね良好な農空間が広がっているが、近年は農業従事者の高齢化や後継者不足等から、農地の維持継続が困難な状況にある。

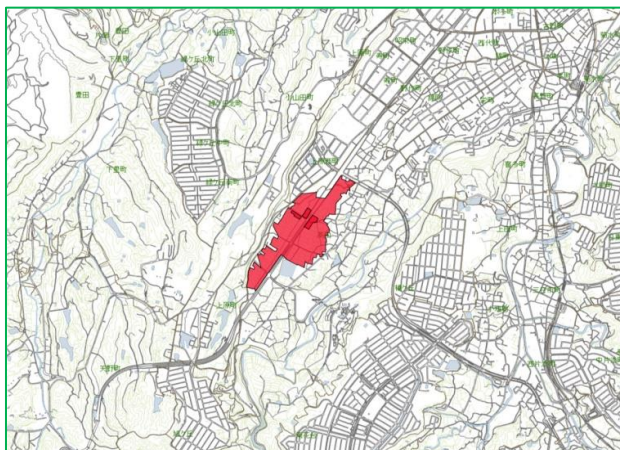
一方、河内長野市都市計画マスタープラン(平成28年3月改訂)において、本地区は「活力創造ゾーン」に位置付けられており、「河内長野市の活性化に寄与する産業・ものづくりの拠点として、産業系の土地利用を主とした計画的なまちづくりを進める」としている。

このようなことから周辺環境との調和を図りつつ、土地区画整理事業を実施し、道路、公園、その他の公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図るとともに、河内長野市の産業拠点として、交流人口の拡大と雇用の創出を生み出す良好な市街地を形成することを目的とする。

▼設計図



▼位置図



▼土地利用内訳

	施行前		施行後	
	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
公共用地	2.44	11.34	4.60	21.40
宅地	19.06	88.66	16.90	78.60
合計	21.50	100.00	21.50	100.00

▼航空写真 (施行前：令和3年)

